



真保家の田んぼ



代かきをする真保さん

二十四節気 **立夏** りっかー 夏の始まりです 田植えが始まります
 気持ちのいい風が吹き、新しい葉が繁る頃

新潟市も毎日暑く感じるほどの天候となりました。

4月下旬から、各地域で農業用水の供給が始まりました。

田んぼに水が来てからは、多くのトラクターが代かきをして、田植えの準備に取り掛かっていました。

代かきは、耕起が完了した田んぼに水を張り、土を更に細かく砕き、丁寧に
 かき混ぜ、土の表面を平らにする作業です。

田んぼの水漏れを防ぐこと、田植えの際に苗を植えやすくすること、植えた苗が
 転ばないようにするといった目的があります。

南区の生産者、真保さんは農業用水が供給された翌日の25日、自宅の裏手の
 田んぼの代かきをしていました。

農業用水が供給された直後は、みんなで水の取り合いになるため、すぐには
 思うように田んぼに水が溜まりません。

代かきをしていた自宅裏の田んぼは、比較的
 早くに水が溜まり代かきをしたようです。

真保さんの田植えの予定は、ゴールデンウィーク
 後半の予定とのことでした。

先月27日、農家さんのところへ追加で注文頂いた
 除草剤の納品に向かっていると、もう田植えを
 終えた田んぼを見かけました。



水が張られた田んぼ (弥彦山と角田山)



田植え前の苗



これから田んぼに入ります

◎◎ 田植え開始！ ◎◎

配達途中、南区の生産者、東條さんが育苗ハウスで作業していました。東條さんのお隣の農家さんが、26日から田植えを始めたようです。私が見た田植え済みの田んぼもお隣さんの田んぼとのことでした。この好天で、気温も上がり苗の生長が早く、思った以上に伸びてしまい、田植えを早めたようです。私が入社して以来、4月26日の田植えは白根地域で、1番早いかもしれません。

南区の生産者、伊勢亀さんは28日から田植えを始めました。28日の9時頃伺うと、自宅近くの田んぼで、これから田植えを始めるところでした。最初に植えるのは、もち米のこがねもち。伊勢亀さんは、田植え機の操作を確認しながら、丁寧に植えていました。

「来年から少し田んぼ増やしますよ」と伊勢亀さん。以前から、近いうちに今の倍くらいの面積やれるといいなあと話されていました。昨年、農家を引き継いだばかりですが、やる気に満ちていて、農業の楽しさとこれからのビジョンにワクワクしている感じが伝わってくる伊勢亀さんです。

5月に入り、田植えをしている方も見かけるようになってきました。ゴールデンウィーク後半は、いよいよ田植えのピークです！



田植えをする伊勢亀さん